

神奈川東部方面線だより

〔 相鉄・JR直通線 — 西谷駅～羽沢横浜国大駅間
相鉄・東急直通線 — 羽沢横浜国大駅～日吉駅間 〕

「神奈川東部方面線」は、相鉄本線西谷駅から羽沢横浜国大駅で、JR東海道貨物線へ乗り入れる「相鉄・JR直通線」と、羽沢横浜国大駅から新横浜駅を經由し、東急東横線・目黒線日吉駅で東急線へ接続する「相鉄・東急直通線」を整備し、相鉄線とJR線、東急線との相互直通運転を行うものです。相鉄・JR直通線は皆様のご支援を賜り、令和元年11月30日に開業することができました。相鉄・東急直通線は、令和5年3月の開業を目指し、主に電気工事、駅舎建築工事、機械設備工事、検査を行っているところです。

本事業は、都市鉄道等利便増進法に基づいた速達性向上事業として進めており、横浜市西部及び神奈川県中部と東京都心部との広域のかつ多様なネットワークの形成により、時間短縮、新幹線へのアクセス向上等、利便性の向上が図られるとともに地域の活性化等に寄与します。



今号では、レール締結の完了についてお知らせします。

全線のレールが一本につながりました

鉄道・運輸機構では、神奈川東部方面線、相鉄・東急直通線建設工事の令和5年3月の完成・開業に向けて工事を進めて参りました。このたび、羽沢横浜国大駅と日吉駅間の全線のレール敷設工事が完了し、相鉄本線西谷駅から東急東横線・目黒線日吉駅間のレールが1本につながるようになりましたので、令和4年7月22日に新横浜駅構内にて、レール締結式を執り行いました。

レール締結式には、国土交通大臣、国会議員、神奈川県知事、横浜市長ほか関係者が出席され、相鉄・東急直通線の新横浜駅構内にて、レール締結（写真左）、清めの儀、テープカット、くす玉割り（写真中央）、モーターカー発進（写真右）等を行いました。

現在は、新横浜駅、新綱島駅を中心とした電気、設備工事などの仕上げを鋭意進めているとともに、安全に列車が走行できる設備となっていることを確認するための検査を、鉄道を運行する相模鉄道株式会社及び東急電鉄株式会社と共同して進めております。今後は、走行試験や国土交通省の検査などを経て、来年3月の開業に向けて全力で取り組んでまいります。

引き続き、安全第一で工事を進めてまいりますので、今後ともご支援・ご協力をお願いします。





(左図) レール締結の様子

(下図) 清めの儀
(締結したレールを清める)の様子



(上図) テープカットの様子

(右図) モーターカー発進(締結したレールを通過するモーターカー)の様子



● お問い合わせ先

● 独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 東京支社 総務課広報担当
〒105-0011
東京都港区芝公園2-4-1 (芝パークビル)
TEL 03-5403-8780
FAX 03-5403-8770
<https://www.jrtt.go.jp/>

● 東急電鉄株式会社 東急お客さまセンター
〒150-8511
東京都渋谷区南平台町5-6
TEL 03-3477-0109
<https://www.tokyu.co.jp/customer/>

● 相模鉄道株式会社 相鉄お客様センター
〒220-0004
横浜市西区北幸2-9-14
TEL 045-319-2111
FAX 045-319-2191
<http://www.sotetsu.co.jp/>

事業の概要や工事の進捗状況など詳しい情報は、以下のホームページをご覧ください
「都市鉄道利便増進事業
相鉄・JR直通線、相鉄・東急直通線」ホームページ
<http://www.chokutsusen.jp/>